文化シヤッター株式会社
本社
東京都文京区西片1丁目17-3 〒113-8535
お客様相談室 03 5844 7111
www.bunka-s.co.jp/

■製品保証

保証期間

施工業者よりの引渡し日（注1、注2）から2年間とします。ただし、カウンタ付き製品（注3）については、その期間内でも開閉回数1400回までとします。
（注1）改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。
（注2）分譲住宅（建売住宅）・分譲マンションの場合は、建築主様への引渡し日とします。
（注3）電動ワイドシャッター、一般重量シャッター、管理併用防火防煙シャッター、オーバースライディングドア電動式、パネルシャッター

保証内容

取扱説明書、ラベルその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合を除き、無料修理いたします。ただし、遠隔地や離島への出張修理の場合は交通に要する実費をいただく場合もあります。
なお、強風時に雨水が浸入することがありますが、この製品上の特性であり不具合ではありません。

免責事項

①天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、高潮、津波、地震、噴火、落雷、洪水、地盤沈下、火災など）による不具合、またはこれらによって製品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
②製品または部品の経年変化（使用に伴う消耗、摩耗。木製品のそり、干割れ等）や経年劣化（樹脂部分の変質、変色など）、またはこれらにともなう錆、かび、またはその他の不具合
③製品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食、またはその他の不具合（例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など）
④自然現象や使用環境に起因する不具合（例えば、結露・凍結、風による振動・共鳴音など）
⑤表示された製品の性能を超えた性能を必要とする場所に取り付けられた場合の不具合（例えば、カタログなどに記載された耐風圧以上の風圧に起因するものなど）
⑥建築躯体の変形など、製品以外に起因する製品の不具合
⑦本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、または使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
⑧当社の手配によらない加工、組立、施工（基礎工事、取付け工事、シーリング工事など）、管理、メンテナンスなどに起因する不具合（例えば、海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用した事による変色や腐食、工事中の養生不良による変色、腐食など）
⑨お客様自身の組立て、取付け、修理、改造（必要部分の取外しを含む）に起因する不具合
⑩引渡し後の操作誤り、整備不良、または適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
⑪使用にともなう接触部分の摩耗・傷・塗装のはがれや時間経過による塗装の退色、樹脂部品の変質・変色、めっきの劣化、またはこれらにともなう錆などの不具合
⑫施工当時実用化されていた科学や技術、知識では予測することが不可能な現象、またはこれが原因で生じた不具合
⑬犬、猫、鳥、ネズミ、昆虫、ゴキブリ、クモなどの小動物、またはつるや根などの植物に起因する不具合
⑭機能上支障のない音、振動など感覚的現象
⑮犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

※保証期間経過後の修理、交換などは、有料とします。
※本記載によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理、その他についてご不明な場合は、最寄りの当社支店・営業所にお問い合わせください。

■定期点検契約のおすすめ

末永く、安全にお使いいただくためには、定期点検と定期的な部品交換が必要です。定期点検契約をむすんでいただくことにより、専門家による点検と保守を行います。動作状態のチェックと給油、消耗部品の交換などを定期的に実施し、正常に働くよう入念に調整いたします。点検の記録は当社に保管し、お客様にそのつど報告いたします。機能低下や不慮の事故を防ぐ定期点検契約は、必要不可欠な製品の一部です。

■腐食が進みやすい環境での点検のお願い

沿岸地区などの自然環境、高湿な使用環境などの腐食が進みやすい環境では、1年に2～4回程度の点検が必要です（回数は状況により異なります）。点検により注油や部品交換など腐食への早期対応を行うことで、錆などによる「開閉機とシャフトを繋ぐローラーチェーンが破断しスラットの急速降下へ至る」といった事故を防ぎます。点検作業には専門知識が必要になりますので、下記の文化シヤッターサービス株式会社までご依頼ください。

■お手入れ方法

●スチール、ステンレス、アルミ製品共通
・雨などにより、泥、ほこりなどが付着しますと錆の発生を早め、美観上からも好ましくありません。
・製品が汚れた場合は、ぬれた布などで汚れを落とした後、固く絞った布などで水分をふきとってください。
・水洗いで落ちない汚れは、ぬるま湯で薄めた中性洗剤を使用したのち、水洗いし、最後に乾いた布で水分を拭き取ってください。
・なお、強風の際（特に台風の場合）は、塩分が内陸部まで飛来することがあるので、風が収まった後、できるだけ早い時期の清掃が必要です。

（注意事項）
・お手入れの際は、柔らかい布をご使用ください。
・製品へのキズを避けるため、金属ブラシ、たわし、みがき粉等の硬いものでこすらないでください。製品にキズが付くと、錆の原因となります。
・酸性またはアルカリ性の洗剤、ベンジン、シンナー、ガソリンなどの有機溶剤は、変色や腐食の原因となりますので使用しないでください。

●お手入れ回数の目安
（1年あたりの回数）

	海岸地帯	工業地帯	市街地	田園地帯
スチール（塗装品）	1～4	1～3	1～2	1
ステンレス（素地）	10～12	8～10	8～10	4～6
アルミ（クリア塗装）	1～4	1～3	1	1

回数はあくまでも目安なので、汚れの状況に応じて清掃回数を増やしてください。

●ステンレス部品の注意事項
・ステンレスは、錆びない素材と考えられがちですが、絶対に錆びない素材ではありません。通常、塗装など表面処理をしない状態で用いられますので、清掃も頻繁に必要です。
・初期の錆については、ぬるま湯で薄めた中性洗剤を使用したのち、水洗いし、最後に乾いた布で水分を拭き取ってください。
・泥、ほこり、塩水、排気ガス中の有害成分、洗浄薬液、もらい錆の付着は、ステンレス自身の錆に発展しますので、早めの清掃が必要です。

●スチール塗装品の再塗装
再塗装時期は、塗料種類や環境により異なりますが、3～7年に1度が適当です。

■寒冷地における取り扱い

寒冷地においては、シャッターカーテン表面の凍結・着雪を取り除いてからご使用ください。凍結・着雪した状態で開閉すると、氷や雪の重みでシャッターが破損し思わぬケガをする場合があります。
また、厳寒時にシャッターを開けた場合には、速やかに閉めてください。開けたままにすると、シャッターケース内部に入り込んだ氷・雪により、シャッターが巻かれたままの状態で凍結する場合があります。凍結したままシャッターを閉めようとしたとき「シャッターが破損し急速降下へ至る」場合があるためです。シャッターが巻かれたままの状態で凍結し動かない場合は、操作を止めて下記の文化シヤッターサービス株式会社までご連絡ください。

■電池使用製品について

蓄電池、乾電池を使用している製品につきましては、電池の寿命が切れる前に交換してください。電池の寿命が切れた製品をお使いになると、製品が正常に作動せず事故につながるだけでなく、電池から発煙・発火する恐れがあります。電池交換時期や乾電池の種類等につきましては、各製品の取扱説明書をご覧ください。電池交換についてのお問い合わせは、下記の文化シヤッターサービス株式会社までご連絡ください。

■商品履歴管理システム

「商品履歴管理システム」とは、お届けした製品一台に一つずつ割り当てた管理ナンバーにより、定期点検結果や修理結果などを一元的に管理するシステムです。管理ナンバーは、〈IDタグ〉というラベルの表面に印字されていますので、定期点検や修理をご依頼の際は、この番号をお知らせください。〈IDタグ〉の貼付位置は、各製品の取扱説明書をご覧ください。
対象商品：電動ワイドシャッター、重量シャッター、オーバースライディングドア、パネルシャッター、
エア・キーパー大間迅、ワイドスライダー、セレスクリーン、防煙たれ壁、
高速・低振動グリルシャッター大静快

修理・点検に関するお問い合せは
0120-365-113
365日いいサービス

アットタイムサービスシステム

突然のシャッターや窓シャッターの故障。そんな時は、文化シヤッターサービス(株)のATSS=アットタイムサービスシステムをご利用ください。フリーダイヤルひとつで365日素早く対応いたします。

ご用命は

カタログの色は製品と多少異なる場合があります。製品改良のため予告なく仕様の変更をすることがあります。

No.875
初 版 CA870-3TC '05・09
第7版 CA870-3AI '11・11

シーサイドシャッター

海浜地域向け軽量シャッター【電動・手動】

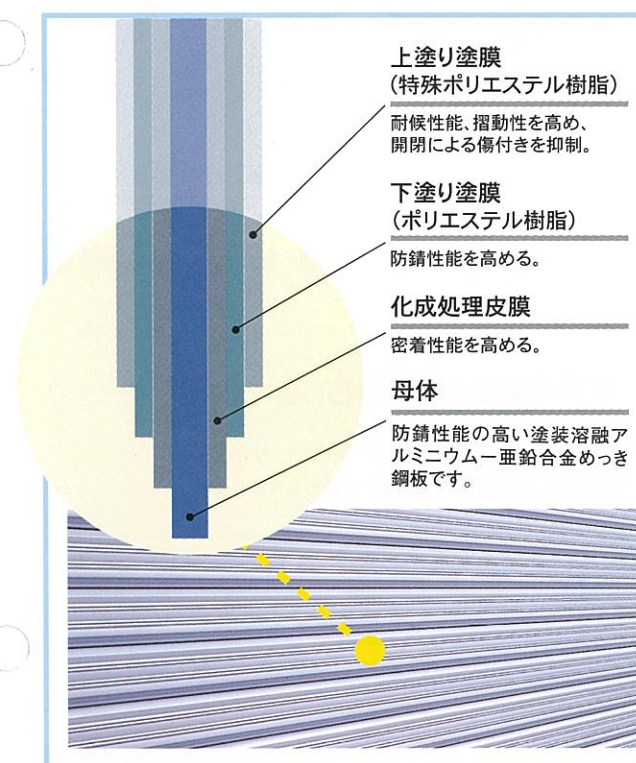
SEA SIDE SHUTTER

優れた防錆性能を発揮し、長期間美しさと機能性を保つ海浜地域向け軽量シャッター。
電動タイプの登場で操作もラクラク。

SEASIDE SHUTTER

海浜地域で使用されるシャッターには、高い防錆性能が要求されます。
潮風や塩水があたる過酷な条件下でも、安心してご使用いただけるのがシーサイドシャッターです。
新採用の「塗装溶融アルミニウムー亜鉛合金めっき鋼板」に特殊塗膜を施し、防錆性能、耐候性能、耐傷付き性能を高めました。
安全、ラクラク操作の電動タイプと手動タイプをラインナップ。目的にあわせてお選びいただけます。
特に塩害に悩む地域でのご使用におすすめします。

1. 防錆性の高い塗装溶融アルミニウムー亜鉛合金めっき鋼板に2層塗膜

スラット・ケース部には、防錆性能の高い塗装溶融アルミニウムー亜鉛合金めっき鋼板を採用。さらに、防錆性能、耐候性能、開閉による耐傷付き性能を高めるため、2層にわたる特殊塗膜を施しました。これにより潮風・塩水があたる過酷な条件下でも長期間美しさと機能性を保ち、安心してご使用いただけます。

2. 主要機構部分にも防錆仕様の専用設計 【特許出願済】

主要機構部のブラケット・巻き取り部（チューブ被膜）にも防錆対策を施し、ガイドレール部、水切り部にはアルミを採用。機能性の劣化を防ぎます。

主要機構部（手動） （電動）

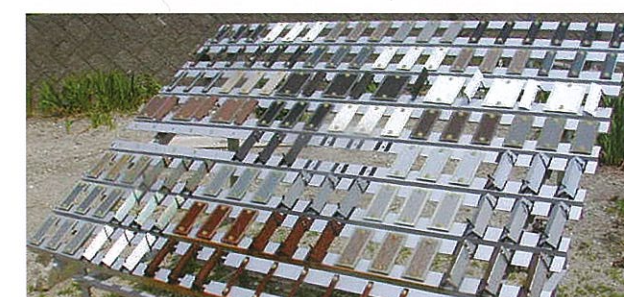
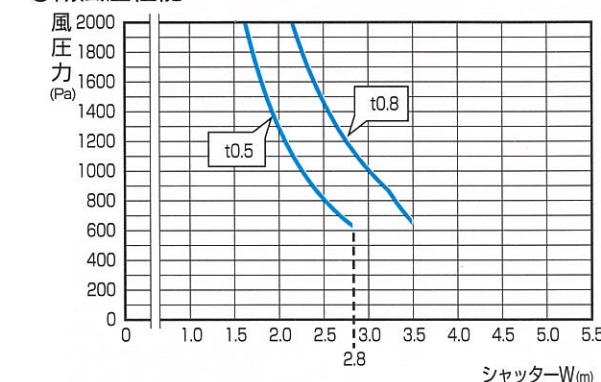
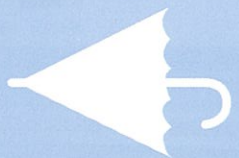
3. 抜群の操作性・静音性

鍵にはサムターン方式を採用。さらにガイドレール部には専用の消音帯を施しました。スムーズに、静かに開閉できる操作性、静音性を発揮します。

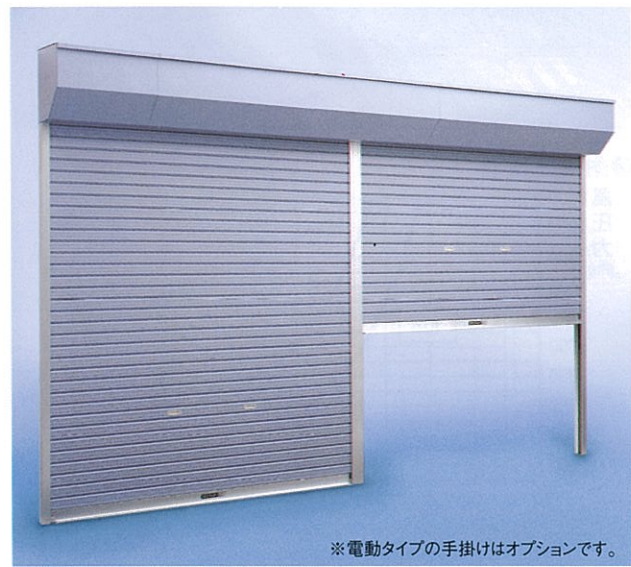
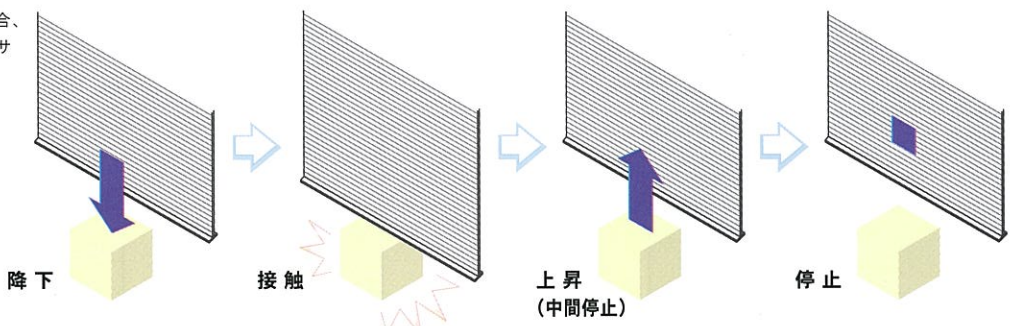
ガイドレール部・消音帯

スムーズに操作できるサムターン方式の鍵（手動）

4. 過酷な条件下で試験を重ね優れた性能を確認

塩害地域での暴露試験や塩水噴霧試験など、過酷な条件下でも高い防錆・耐久性が確認されています。
（暴露試験地／沖縄・淡路島、開閉耐久試験、塩水噴霧試験1,000時間）

●耐風圧性能

ラクラク操作で快適、便利。安心、安全な電動タイプ。

ラクラク操作でシャッターの開閉が自由自在にできる電動タイプをご用意。
操作はボタンを指で押すだけ、ワンタッチの快適・便利なシーサイドシャッターです。
電動タイプには障害物感知装置／マジックセンサーを装着。
荷物や人の出入りの多い場所、目の届きにくい場所でのシャッター事故を未然に防ぐ安心設計です。

■快適・便利な電動開閉。

※電動タイプの手掛けはオプションです。

■電動式諸元

最大巻上能力		25kg
巻上初速度		3.6m/min
開閉機	出力	40W
	極数	2P
	定格	5m
	相数	単相
	電圧	100V
	周波数	50/60Hz
	絶縁	E種

※電動タイプは2連装までです。
※防火設備仕様・電動タイプの場合、障害物感知装置は、光電管センサ方式となります。

■障害物感知装置／マジックセンサー

シャッター開閉時の障害物を感知することを目的としたシステムです。障害物に接触するといったん停止し、上昇して再び停止します。障害物を取り除いていただければ、通常どおりご使用できます。

■携帯に便利、軽くて薄いリモコン／セレカード(オプション)

■標準仕様

部材	材料・内容		カラー
スラット	塗装溶融アルミニウム一亜鉛合金めっき鋼板	t0.5mm t0.8mm	サーフブルー コーストベージュ
ケース		t0.5mm	
ブラケット	溶融亜鉛めっき鋼板・防錆塗装		
水切り	アルミニウム合金押出形材		シルバー ブロンズ
レール(中柱)			
機構部	チューブ被覆		

■防火設備仕様

部材	材料・内容		カラー
スラット	塗装溶融アルミニウム一亜鉛合金めっき鋼板	t0.8mm	サーフブルー コーストベージュ
ケース			
ブラケット	溶融亜鉛めっき鋼板・防錆塗装		
水切り	ステンレス ※ステンレス部材の表面は、クリア塗装仕様		
レール(中柱)			
機構部	チューブ被覆		

スラット／サーフブルー
レール・水切り／シルバー

スラット／コーストベージュ
レール・水切り／ブロンズ

※防火設備仕様(手動・電動)は、レール・水切りがステンレスとなります。
(写真はアルミレール、アルミ水切りです。)

※標準仕様・電動タイプの場合、水切り色はシルバーとなり、形は異なります。

●設計範囲

【手動タイプ】

内巻 (t0.5)

外巻 (t0.5)

内巻 (t0.8)

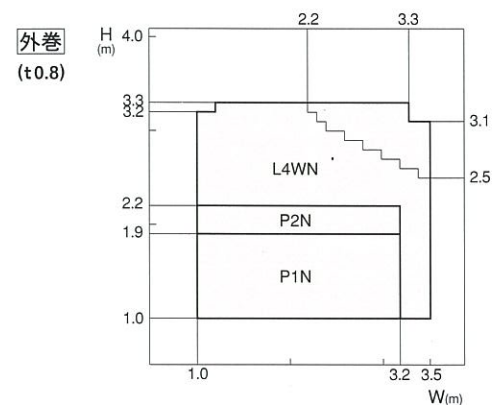
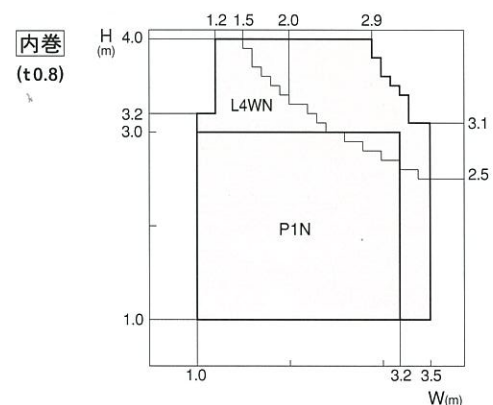
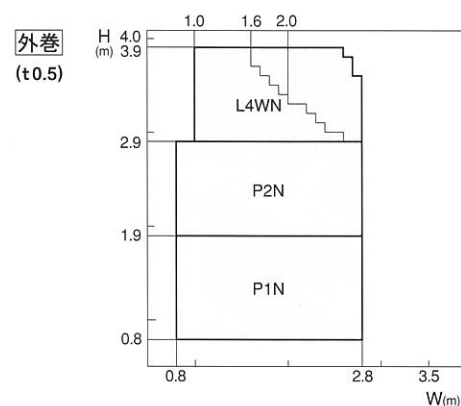
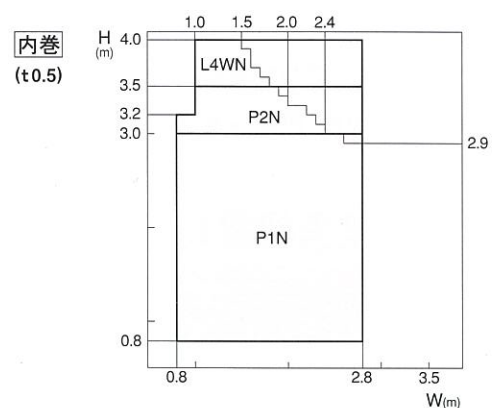
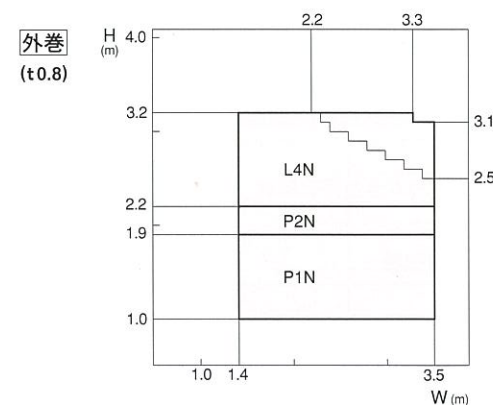
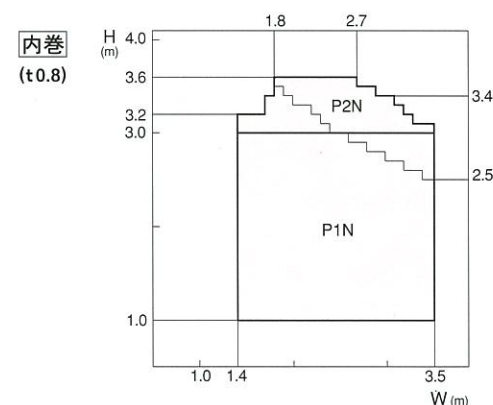
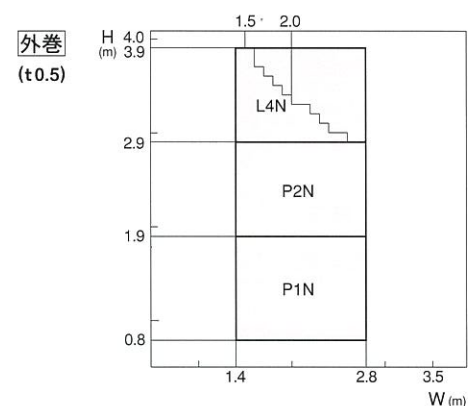
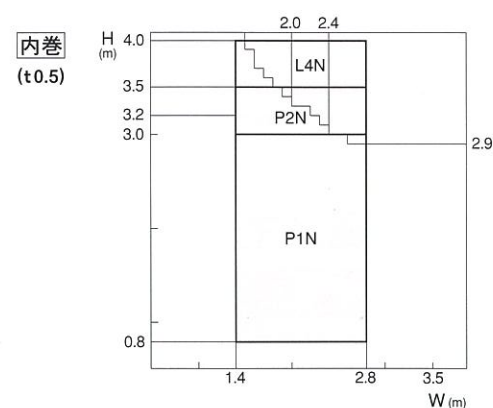
外巻 (t0.8)

【電動タイプ】

内巻 (t0.5)

外巻 (t0.5)

内巻 (t0.8)

外巻 (t0.8)

※点検口が必要な場合はL型ケースとなります。※表内の階段線はアルミ中柱の設置許容範囲です。階段線より大きい範囲は連装許容外となります。

●標準納まり図

●天井内納まり図

■ガイドレール

■座板